



ぼんばな

盆花とは、盂蘭盆（うらぼん）に祖先のお墓に供える野の花のことです。阿蘇には、祖先の墓前に野の花を手向ける風習があり、かつてはお盆の初日前に草原にカワラナデシコやオミナエシなど色とりどりの野の花を採りに行く「盆花採り」が行われていました。

8月
2008

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

草原管理手法に関する実証試験

環境省は、ボランティアの人々の協力を得て、草原維持管理手法の実証試験を行っています。四角に囲んだ試験区ごとに維持管理方法を変え、植生に及ぼす影響を調べています。草刈りや野焼きの作業に参加したボランティアの人々から、「刈り取りを行っている区域には様々な花が咲いている。」「草刈りの時期をずらすことで植生に違いが出ている。」などの報告が届いています。



昔行われていた盆花採りの風景





輪地切り・輪地焼き

野焼きの際、火がまわりの山林に延焼するのを防ぐための防火帯のことを「輪地」といいます。草原と山林の境に沿って5～10mの幅で草を刈り（輪地切り）、その草を集めて焼却し（輪地焼き）、防火帯を作ります。8月下旬から10月下旬にかけて、急斜面で行う重労働です。

写真 大滝典雄

9月
2008

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15 敬老の日	16	17	18	19	20
21	22	23 秋分の日	24	25	26	27
28	29	30				



急斜面での輪地切り作業の様子



小規模点在樹林地除去（輪地切り省力化）

輪地切り（防火帯作り）は、野焼きのために欠かせない準備作業ですが、夏の暑い時期に行う重労働です。環境省では、この作業の省力化のための整備を進めていますが、その一つが小規模点在樹林地の除去です。草原の中に小さな島状の樹林地があるとその周囲の輪地切りが必要ですが、樹林地をなくすことで境界線が消滅し、輪地切り作業が軽減されます。